

第 103 回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

I. 日 時：2024 年 4 月 18 日（木） 10 時 00 分～10 時 50 分

II. 場 所：WEB 会議(Webex による)

III. 出席者：鈴木(三菱重工)、佐藤 (JERA)、幅野 (IHI)、飯田 (JERA)、長谷川 (発電技検)、
高内 (神戸製鋼)、新井 (三菱重工)、後藤 (関西電力)、西尾 (北陸電力)

欠 席： 岩井 (東芝)、水谷 (東工大)、飯島 (日本溶接協会)

事務局： 中村

IV. 配付資料

103-1 溶接分科会委員名簿

103-2 第 107 回火力専門委員会議事録（案）

103-3 第 109 回規格委員会議事録（案）

103-4 基本規定 第 10 章 改訂案

103-5 2024 年度溶接分科会活動計画

V. 議事（前回会議の議事録は承認済みのため確認なし）

1. 分科会委員の承認

【資料 103-1】

水谷委員（東工大）の退任が報告された。高内委員（神戸製鋼）を再任委員候補として次回火力専門委員会へ推薦することが出席委員全員の賛成により承認された。

2. 報告事項

(1)火力専門委員会報告

【資料 103-2】

2 月 28 日開催の第 107 回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○火力専門委員会委員、各分科会委員の承認

○トピックス

日本機械学会の動力エネルギー部門 GAP 分科会の新技術の紹介があり、新技術で必要となる規格について火力専門委員会の検討内容を参考とすることが報告された。

○溶接分科会

新任・再任委員候補がいなかったため、メール審議を行わなかったことが報告された。

○材料分科会報告

JNCF141TB 事例規格案について規格委員会でのコメントの反映後に 3 月 6 日の材料専門委員会にて審議を行うことが報告された。

○構造分科会報告

2 月 7 日開催の構造分科会の議事内容として規格委投票 No.624（第Ⅳ章 圧力容器改訂案）および No.623（第Ⅰ章 総則 改訂案）それぞれの意見対応案について意見対応案の審議を行い、審議結果を反映した意見対応案を火専三役確認後に意見者に回答することが報告された。

○規格委書面投票 No.624（第Ⅳ章 圧力容器改訂案）および No.623（第Ⅰ章 総則 改訂案）の結果報告として可決が報告された。いずれの書面投票において意見が出されたため、火力専門委員会にて審議を行うこととなった。

○審議事項

- ・規格委書面投票 No.624 および No.623 の意見対応案

規格委投票において出された意見に対する対応案の説明がされ、一部の回答が意見者の回答待ち及び分科会確認中であることが報告された。

- ・J NCF141TB に関する事例規格案の修正案

規格委員会に事例規格案の書面投票の提案を行ったが、J NCF141TB のような新しい材料の事例規格案については、規格委書面投票前に材料専門委員会での審議を行う必要があることが確認された。

(2)規格委員会報告

【資料 103-4】

3月13日開催の第108回発電用設備規格委員会の議事のうち、運営及び火力関連事項に関して報告された。

○火力専門委員会(2/28開催)報告

○発電用火力設備規格に関する審議

- ・詳細規定 第Ⅰ章 総則の改定案：規格委投票 No.623 での意見対応及びこれに伴う規格案の修正について説明され、意見者の了解が得られていることを確認した。挙手による採決の結果、意見対応に伴う編集上の修正を行うことが承認された。
- ・詳細規定 第Ⅳ章 圧力容器の改定案：規格委投票 No.624 での意見対応及びこれに伴う規格案の修正について説明されたが、確認の範囲が広く審議時間内に確認・判断ができないことから、意見対応完了後に15日間のメール審議を行うことが承認された。

4. 審議事項

(1)基本規定 第10章改訂案

【資料 103-5】

鈴木主査より基本規定 10章改訂案の説明があった。

基本規定において詳細規定第Ⅵ章とⅦ章を読み込んでいる箇所について、詳細規定の改定案（202X年版）にて新たに追加された規定番号を新旧対比表に反映した。一部、試験方法名称を記載している箇所を他と同様規定番号に置き換え、表現の統一をおこなった。

作成した基本規定の改定案について、各委員の詳細規定改定担当部分に対して抜け、追加の有無についてダブルチェックを行うことを依頼した。

ダブルチェックに際し、確認対象となる最新の詳細規定の新旧対比表が、溶接分科会のCSキャビネット内のフォルダに登録されている旨を周知した。また、構造分科会所掌の第Ⅲ章から第Ⅴ章の規定番号が呼び込まれている部分については、構造分科会へ確認依頼を行ったことも周知した。

委員によるチェックは4/26（金）を締切とし、意見の取り纏め後に構造分科会からの回答状況も踏まえた上で、5/22開催の火力専門委員会にて書面投票の提案を行う予定。

(2) 2024 年度 溶接分科会活動計画

【資料 103-5】

2 月 28 日に火力専門委員会より提案された 2024 年度火力専門委員会活動計画案に基づく溶接分科会の活動計画案について説明された。

溶接分科会の活動計画案として基本規定 10 章 の改訂案の作成、書面投票提案、意見対応に加え、詳細規定 第Ⅵ章、第Ⅶ章の変更箇所一覧表作成、2028 年版（仮）の発電章火力設備規格_基本規定・詳細規定について次回改訂の ASME 参照年版の検討の他、202X 版の意見対応時コメントの取り入れ内容検討、書式・用語等の検討、作業分担割を行うことが提案された。

火専の活動計画案の溶接検査の課題対応（火専 2024 年度活動計画案の 1. 規格の制定・改定（3）その他）として、溶接自主検査ガイドの作成検討が提案されているが、溶接分科会単独での取り纏めは難しく、品証部門を含めた対応の必要との意見があった。

5. 次回開催予定

分科会開催が必要なときに改めて日程調整を行い、開催する。

以 上